

「昨日からコロナ大爆発」倉持仁医師が悲鳴「もう現場はまわりませんね」治療薬が枯渇で怒「ほんと、ふざけてますね」

7/14 デイリースポーツ

宇都宮市のインターパーク倉持呼吸器内科院長で、日本テレビ「情報ライブ ミヤネ屋」、TBS「Nスタ」などで新型コロナウイルスの解説を務める、倉持仁医師が14日、Xを更新。「昨日からコロナ大爆発でもう現場はまわりませんね」と悲鳴を上げた。

新型コロナウイルスは、感染者が急増していると報じられている。2020年の蔓延初期から治療の最前線に立つ一方で、メディアに出演することで、解説などに当たってきた倉持医師は「うーん、昨日からコロナ大爆発でもう現場はまわりませんね。亡くなる方がないようにできるかぎり、最善を尽くします」とつぶった。

その後の書き込みでは「うむむ、爆発2日目に弾切れ」と治療薬が枯渇したことを訴えた。「薬が足りないからって最小の在庫でやっていたのですが、やってるおろしもなく、たま切れのまま。流行しようが、しまいが、事後報告なので問題があったかどうかは認識していないが、今は問題ありませんとさっさと言いますね！ほんと、ふざけてますね！なんもかわとらん！！てか、わるくしかなくておられません！」と5年たっても改善されない医療体制に、怒りを隠さなかった。

倉持仁院長「うーん、昨日からコロナ大爆発でもう現場はまわりませんね、亡くなる方がないように…」と医療現場の現状を報告

7/14(日) 中日スポーツ



新型コロナ患者の診察に初期段階から取り組み、メディアで医療現場の声を発信してきた宇都宮市と東京・日本橋でクリニックを運営する内科医の倉持仁さんが14日朝、X(旧ツイッター)を更新。「うーん、昨日からコロナ大爆発でもう現場はまわりませんね。亡くなる方がないようにできるかぎり、最善を尽くします」と、現状を明かした。

7日のX投稿では「日本橋ではインフルエンザAも検出されています。局所的なものであれば良いのですが、宇都宮では80代のコロナのひどい肺炎、熱中症で動けなくなるなど、これから、わけがわからなくなる可能性もありますので、皆様無理をなさらず、エアコンをつけてお過ごしください」と、感染症と熱中症対策を呼び掛けていた。

厚生労働省が発表した7月7日までの1週間の新型コロナウイルスの全国の感染状況によると、1医療機関あたりの平均患者数は8.07人で昨年の9.14人から減少しているものの、前週比では1.39倍と9週連続で増加しており、沖縄では1医療機関あたり30人に迫るなど、全都道府県で増加している。中日スポーツ